

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		翼		公表日		
				令和7年 2月 13日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	パーテーションを使用し、部屋を分けられるようにしています。	状況に応じてスペースの確保ができるようにしていきます
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	他事業所と相談し、職員を配置するようにしている。	日によっては足りないと感じるときがあったため、子どもの状態も鑑みて配置できるようにしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	建物の構造上、玄関の上がり框の段差が大きいいため、利用者さんが行動する際は声をかけることや一緒に行動するなどの対応をしています。	様々な場面を想定して、環境の構造化を図っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	毎日掃除する時間を作っています。また、量の部屋であるためか、利用者さんもゆっくり過ごされている方が多いと思います。	常に清潔な空間を保てるように掃除を徹底して行います。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	個別の部屋がないため、パーテーションを使用し対応しています。	今後もその時の状況に合わせて対応していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	毎日ミーティングを行うことや日報を書いてもらうこと、会議に全員が参加できるようにしております。	今後も継続していき、業務改善につなげていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	保護者向け評価表を集計し、保護者の意向を把握しております。	今後も保護者の意見を参考にさせていただき、業務改善につなげられるようにしていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	毎日のミーティングや日報の記入、面談などを行い職員の意見を把握しております。	今後も毎日のミーティングや日報、面談などを行い職員の意見を把握し、業務改善につなげられるようにしていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	現時点では行っておりません	今後の課題として検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	随時研修には参加するようにしております。	今後も様々な研修に参加していき、支援の質の向上を目指します。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	支援プログラムを作成し、HPに公表しました。	今後も継続していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	保護者にこどもの様子の聞き取りを定期的に行うようにしております。	今後も継続していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	毎日のミーティングや会議などで利用者さんについて話す時間を設け、共通理解できるようにしております。	今後も継続していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	計画を職員で共有し、計画に沿った支援を職員全員で考えております。	今後も継続していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	標準化し職員が把握できるようにしております。また、事業所独自の物も作成しております。	今後も継続していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	こども一人一人に具体的な支援内容を設定しております。	今後も継続していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	毎日のミーティングや会議などにより考えております。	今後も継続していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	固定化しないように工夫しております。	今後も継続して固定化しないように考えていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	その日のメンバー、人数などによって活動内容や支援方法は考えております。	今後も継続していきます。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	毎日ミーティングを行い、その日の動き方を話せる時間を作るようにしております。	今後も継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	その日のうちにできないことがあるため、次の日にできるようにしております。	今後も継続していき、しっかり振り返りや引継ぎを行います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	毎日支援記録は書いております。また、そこで書かれた内容についてミーティングで話し合う時間を作っております。	今後も継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行うようにしております。	半年に1回はモニタリング、計画書の見直しを行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	0	児童発達支援管理責任者が出席するようにしております。	今後も継続していき、加えて他の職員も参加できるように工夫していきます。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	サービス担当者会議に参加するなど連携できるようにしています。	医療、保健などの機関とは連携したことがないため、今後のケースも考えながら検討していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	現状中学生以上の利用者さんのみになるため、成育歴などの情報は保護者から聞き取りを行っております。	必要に応じて情報共有を図っていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	他の事業所と連絡を取り合い情報共有できるようにしております。	各機関との必要な情報共有に努めます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1	送迎の変更に対応できるように、送迎マニュアルを作成しております。	保護者や学校との情報共有に努めていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	4	中学生以上の利用者さんのみを利用しているため、現状成育歴などの情報は保護者から聞き取りを行っております。	今後必要に応じて情報共有をしていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	4	現状卒業生がまだおりません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	4	行ったことがありません。	今後必要に応じて助言や研修を受けたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0	4	現状交流の場がありません。	今後必要に応じて検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	4	現状参加したことがありません。	今後参加できる機会があれば参加していきたい。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	ICTを活用することや懇談の機会を設けコミュニケーションを図る機会を作っています。	今後も継続して行っていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	研修の機会を1回だけ設けております。	今後の課題として検討していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時に説明を行っております。	今後も継続して行っていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	定期的に保護者懇談の機会を設け意向を確認する機会を設けています。	今後も継続して行っていき、ご要望に応えられるようにしていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	個別支援計画を作成後、保護者の方に同意を得ております。	今後も継続して行っていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	送迎の際や電話などにより対応しております。また、懇談時にも相談を受けております。	今後も継続して行っていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	1	2月に交流の機会を設けております。	保護者会などはないため今後検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	苦情に関しては、速やかに対応できるようにしております。	必要時には他機関との連携も行っていきます。

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	SNSにて定期的に活動の発信ができるようにしております。行事の予定についても毎月掲載しております。	今後も継続して行っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報の取扱いは厳重に注意し、秘密厳守を徹底しております。	今後も継続して行っています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	ご本人様に合わせ、分かりやすくなるように工夫しております。	よりよい支援ができるように今後も考えていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0	年に1回マルシェを開催しており、地域の方を招待したイベントとなっております。	今後もこのようなイベントができるように検討してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	それぞれのマニュアルを策定しており、職員に周知、訓練、会議を行っています。	今後も継続して行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	BCPを策定し、定期的に避難訓練を行い非常災害の発生に備えております。	今後も継続して行いき、本番で対応できるようにしていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	契約時やそういったことがあった際には保護者の方から聞き取りをさせていただいております。	今後も情報確認はしっかり行っています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	食物アレルギーのあるお子様の一覧表を作成し、職員間で共有しております。	今後も継続して行いき、随時情報の更新をしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	定期的に研修を行うなど、安全管理は定期的に確認しております。	今後も継続して行いき、安全管理を徹底してまいります。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	災害が起こった際の避難先や連絡先など周知しております。	今後も情報共有を行ってまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	各自ヒヤリハット表を記入し、毎月の定例会議で共有する機会を設けております。	今後も継続して行っています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	定期的に虐待防止研修を実施し虐待につながらないことを目指しております。	今後も継続して行いき、意識の向上を図ります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	現状そういった事案はありません。	今後そういった事案が出てきた際には子どもや保護者と十分に話し合いをして対応していけるようにします。